くろゆり通信

第２０３号　令和３年　１１月発行
発行者　国土交通省中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
小渋川砂防出張所
小渋川支部安全協議会

大鹿歌舞伎が開催されました

大鹿村に300年以上伝承され、国の重要無形民俗文化財に指定されている「大鹿歌舞伎」の秋の定期公演が10月17日、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、春の定期公演に続き無観客で市場神社にて行われました。

演目「六千両後日之文章（ろくせんりょうごじつのぶんしょう）　重忠館の段（しげただやかたのだん）」

通常であれば多くの観客が来場し、客席から歓声やおひねりが飛び交うところですが、新型コロナウイルスの影響から、春に続き今回の公演もケーブルテレビ、インターネット動画投稿サイトでの生配信となりました。そのような状況下ではありましたが、役者の皆さん、裏方の皆さん全員で熱のこもった演技が上演されました。

芝居が終わると「シャンシャンシャン、オシャシャのシャン」のリズムで締めの「手打ち」を行います。

今回の演目は大鹿歌舞伎だけに伝わる幻の演目でした。

何台ものカメラで生配信されました

境内は無観客でしたが、素晴らしい演技と舞台の熱気が画面をとおして伝わってきました。

資料提供：大鹿村役場

裏面もご覧ください

道の駅に「大鹿カブシャンポスト」が設置されました！

道の駅「歌舞伎の里大鹿」に新しく郵便ポストが設置されました。その名も「大鹿カブシャンポスト」。　何が特徴かと言うとまずはその色！普通のポストと違い目立つように全体が黄色く塗られています。そして、ポストの周りには大鹿歌舞伎を演じている役者さんが描かれています。また、実際に手紙やはがきを投かんするとセンサーが反応し、歌舞伎のセリフやかけ声など何種類かのセリフが流れる仕組みになっています。投かんすると音声案内するポストは存在しますが、地域の方の肉声を取り入れた機能はとても珍しいそうです。

ポストの正面や側面には大鹿歌舞伎の様々な場面が描かれいて、見るだけでも楽しいポストになっています。

資料提供：大鹿村役場

道の駅正面玄関横に設置されています
黄色で目立ちます！

郵便物を入れると歌舞伎のセリフ流れます♪

新しい工事が始まりました！

現場代理人　宮下 房貴

監理技術者　宮下 剛彦

工 事 名：令和３年度　天竜川水系塩川床固工事
工事箇所：大鹿村　鹿塩地先
工　　期：令和３年９月６日～令和４年３月２５日
施　　工：大協建設株式会社

塩川、鹿塩川の合流点付近で川の流れを安定化させる床固め工事を行います。
工事期間中は大変ご迷惑をお掛けしますが、安全に工事を進めますので、ご理解ご協力をお願い致します。